



# おとひめ

令和5年10月25日(水)



## 実りのある後期へ！

山口小学校長 加藤 美香

後期が始まり2週間が経ちました。山口小学校では、目指す学校を「笑顔あふれる学校～学ぶ喜び 挑戦する楽しさ～」とし、4月から職員や子どもと一緒に取り組んでいます。子どもたちは、前期に3つの花を咲かせました。

1つ目は、「笑顔の花」です。前期は児童代表委員や最高学年である6年生が中心となって、全校遊びやなかよし班遊び、ダンスプロジェクト、暑さを吹きとばす水鉄砲おにごっこ、にっこにご祭り、150周年Tシャツプロジェクトなど、アイデアあふれる見事な企画を考え、実行しました。仲間と力を合わせて頑張る。自分ができるところを考え、実行する。そういった日常的な営みが、前期を締めくくる運動会での一人一人が最後まで走りきる姿、勢いある団の応援につながり、山口小学校の笑顔の花がたくさん咲きました。2つ目は「学ぶ喜びの花」です。本校では、「進んで学び続ける子」をめざし、職員全員が授業づくりに力を入れています。その中で、「できた。わかった。もっとやってみよう。」という学ぶ喜びにつながる声が増えつつあります。また、「わからん、どういうこと？」と課題を解決しようと学び続けている素晴らしい姿も見られました。市内の小学校長が本校に来校し、授業と全校帰りの会の様子を参観した際には、「自分の意見を言い合っただけで力をつけている姿がよくわかりました。」「全校帰りの会での大きな歌声に感動しました。また、よいことみつけは、友達の良さから自分もこうしたいという思いまで話せていて、レベルの高さを感じました。」等、子どもへのメッセージをいただきました。3つ目は「挑戦の花」です。前期は、学級や委員会活動、学校行事において自分の役割を果たす姿、日常を通してなりたい自分やできるようになりたいことを決めて頑張る姿、仲間と目標を決めてやりきる姿がどの学年にもみられました。

1年間の集大成に向かう後期。3月に一年を振り返った時に、子ども自身が「自分（自分たち）は成長したな。来年は…」と思えるよう、職員とともに実りのある後期にしていきたいと考えています。児童代表委員は「全校のリーダーとして自分から動き、にっこにこの山口小をつくっていきたい。」と意気込みを語りました。すこやか委員長は「全校が元気でいられるように手洗いや換気と呼び掛けていきます。」と、ほがらか委員長は、「みんなが楽しくたくさんの本を借りてくれるよう係の仕事を忘れずにやれる委員会にします。また笑顔できれいな声で歌ってもらえるよう頑張りたいです。」と語りました。

子どもたちは、新しい役割と目標をもって後期のスタートを切っています。前期に引き続き、保護者の皆様の応援とサポートをよろしくお願いいたします。